

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第1号

果樹

発行日 平成23年3月23日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

《東北地方太平洋沖地震の影響に対する技術情報》

地震の影響により、スピードスプレーヤ(以下SS)等防除機具の燃料(軽油等)不足が懸念され、4月上旬から中旬にかけての薬剤散布に間に合わないことが考えられます。この時期の防除は芽出前及び芽出当時にあたり、対象病害虫はリンゴハダニ、腐らん病、モニリア病(芽出当時)です。やむを得ずこの時期の防除を省略する場合は、以下の対策を講じてください。

1 リンゴハダニ

リンゴハダニの発生状況を観察し、発生密度が高まるようであれば、**落花期に殺ダニ剤を散布します**。殺ダニ剤には訪火昆虫に影響を及ぼすものもあるので、ミツバチを導入している園地では撤去し、マメコバチを利用している園地では、影響の少ない剤を選択します。

2 腐らん病

枝腐らんや胴腐らんの早期発見に努め、罹病部の剪除と削り採りを徹底します。大きな切り口や削り取り後はトップジンMペーストなど塗布剤を利用し、外傷部の癒合促進を図ります。

3 モニリア病

耕種的防除として、消雪促進、排水対策、園地清掃を徹底し、地表面の乾燥を図ります。芽出10日後の散布は遅れずに実施しましょう。

《定期情報》

◆花芽率は平年よりも低め！

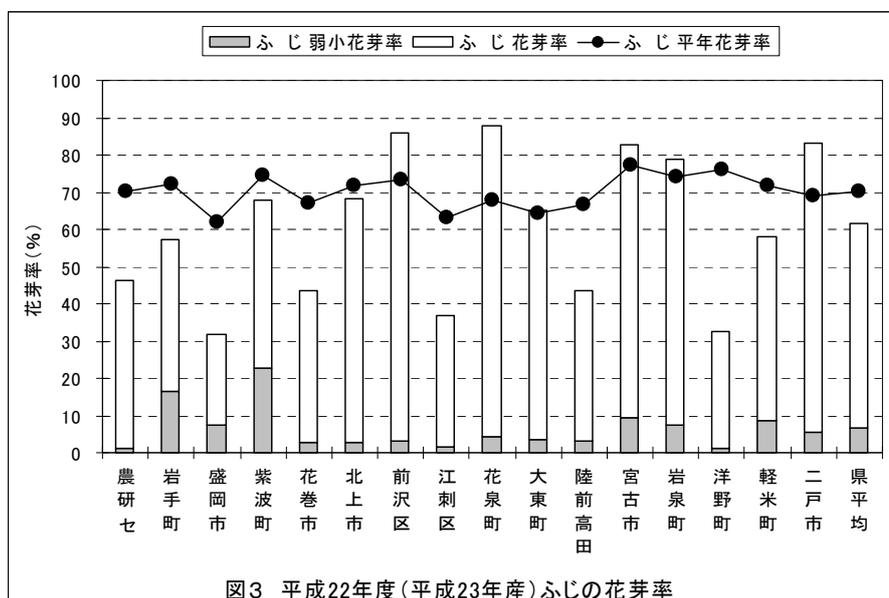
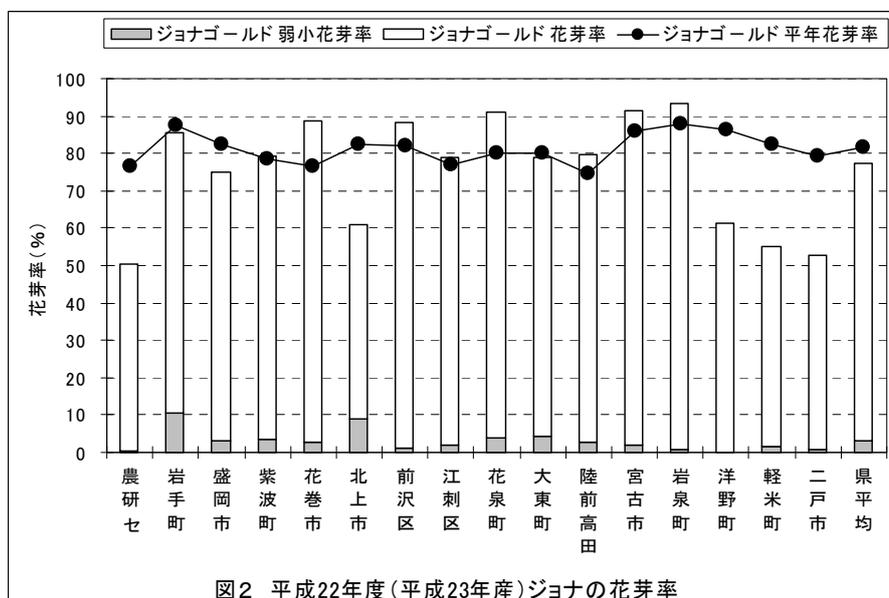
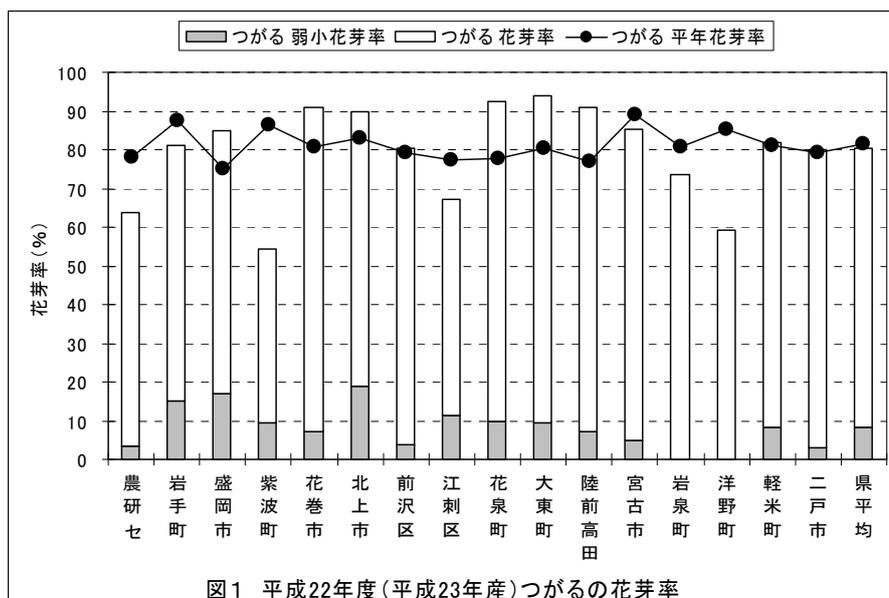
◆発芽はほぼ平年並みと予測される！！ 春作業を計画的に進めましょう！

りんご

1 花芽の状況

平成23年産りんごの花芽率の県平均では、「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」とも平年、前年、一昨年より低い状況となっています。また、例年以上に地域間の差が大きく、その傾向は「ふじ」で顕著な傾向にあります(図1、2、3)。

要因としては、7~8月の花芽形成期の高温が大きな要因と思われますが、4月の低温で開花が遅れたことによる摘果作業の遅れ、それにとまなう着果過多など栽培管理面も要因として複合的に関与していると考えられます。従って、今年の結実確保と着果管理には十分に留意する必要があります。



2 発芽予測

3月11日時点のメッシュ気象情報システムを用いたりんごの発芽予測では、地域により若干の差はあるものの、県平均ではほぼ平年並みの発芽日と予測されています（表1）。なお、地震の影響により3月12日以降のアメダスデータに欠測値が出ているため、3月11日時点での予測値としています。

本予測結果は予測日（3月11日）以降の気温が平年並みで推移した場合の予測日であり、3月18日時点の仙台管区気象台発表の1ヶ月予報によると、今後の気温は、はじめはやや低めその後は平年並みで推移するとされています。

今後も気象予報には十分に注意し、桜の開花前線やツバメ飛来等周辺の生物季節の推移を参考に、剪定や防除の準備等を進めましょう。

表1 「ふじ」の発芽予測結果(3月11日時点)

	発芽予測日	平年発芽日	予測日の 平年差
岩手町一方井	4月17日	4月13日	4
盛岡市三ツ割	4月12日	4月10日	2
紫波町長岡	4月11日	4月8日	3
花巻市中根子	4月9日	4月8日	1
北上市立花	4月9日	4月7日	2
奥州市前沢区	4月6日	4月4日	2
奥州市江刺区	4月11日	4月10日	1
一関市花泉町	4月7日	4月7日	0
一関市大東町	4月9日	4月10日	-1
陸前高田市米崎	4月4日	4月6日	-2
宮古市崎山	4月8日	4月8日	0
岩泉町乙茂	4月12日	4月9日	3
洋野町大野	4月15日	4月15日	0
軽米町高家	4月16日	4月12日	4
二戸市金田一	4月11日	4月10日	1
県平均	4月10日	4月9日	1
【気象特性区分別平均】(参考)			
I 県北・山間・高標高地帯	4月14日	4月11日	3
II 沿岸北～中部地帯	4月11日	4月10日	1
III 県中部及び県南部山間地帯	4月10日	4月9日	1
IV 県南部及び沿岸南部地帯	4月7日	4月6日	1
※予測は3月11日以降の気温が平年並みで推移した場合			

3 作業の留意点

- (1) 防除作業や各種管理作業は、生育ステージに合わせて進める必要がありますので、薬剤の準備、剪定枝の片付けなどの園地整備を早めにし、作業の遅れが生じないようにしましょう。
- (2) りんごの花器は、開花期に近づくにつれ、低温耐性が下がってきます。さらに、近年の気象は変化が大きく、極端な低温による凍霜害発生危険性が否定できません。燃焼資材の準備、防霜ファンの点検、防霜対策用スプリンクラーの設置など対策の準備を進めましょう。また、霜害の事後対策としては、人工授粉による結実確保が重要なので、花粉の準備も合わせて進めましょう。
- (3) 病害虫の発生状況については、病害虫防除所が発行する防除情報を参考に、適期防除に努めましょう。

次号は4月28日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。